

(様式3)

事業所名 グループホーム もりの郷

目標達成計画

作成日 平成 26 年 1 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民が認知症を理解し、認知症の本人や家族にとっては暮らし易い地域になることを目指して、認知症サポーター養成講座等の開催等の取り組みが必要である。	地域住民の方の認知症への理解を深める。 介護予防への関心を高める。	10月に地域の老人クラブを対象とした福祉用具講座を開催計画。今後も介護予防に対する関心を高める取り組みを継続していきたい。 12月には地域の小学校にて、認知症サポーター養成講座開催を計画。今後も地域で様々な講座を開催し、地域住民が気軽に相談できる施設作りを行っていきたい。	6ヶ月
2	27	センター方式による日々の記録様式を取り入れているが、表面化した行動のみ記録はされており、行動から利用者の願いや支援してほしいと望んでいることの記録が殆どない。	行動から、利用者の思いや願い、支援してほしいと望んでいることの気づきを記録していく。	マンダラート、ひもときシートを活用した演習を重ねながら気づきを養い、日々の記録、支援計画見直しにつなげていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。